

学術発表の概要

『ポストコア～材質及び形態を考慮した維持部について～』 西濃支部 藤原 輝人

近年、メタルフリーの審美修復やCAD/CAMの進化等、新しい材料の開発により技工術式も多様化している。それに伴い、土台となる支台歯の状態が補綴物に影響を与えることも少なくない。中でも生活歯の修復においてポストコアの存在が大変重要になる。

今回は根破折のリスクの回避を目的とした材質及び形態の要点について述べさせていただき、日々の臨床から学んだ永続性のあるポストコアを紹介したい。

『スプリントレジンを使用したスプリント製作時のポイント』 西濃支部 丸山 登志夫

顎関節症の患者はここ数年で急速に増加している。子供から高齢者まで幅広く見られる病気であるが20～30代の女性に多く見られる傾向がある。

顎関節症の原因はさまざま、仕事のストレスや頬杖をつく、柔らかい物しか食べないといった生活習慣も原因の一つと考えられており、現代人病と言っても過言ではない。その中でも睡眠時の噛みしめによって起床時に顎が疲れる・痛いといった症状の方が多いことも事実である。そこで顎関節症の初期治療としてスプリント療法は高頻度に使用され、スプリントを使用すれば早い人であれば数日で緩和されることもあり初期治療として有効なものだと考えられる。

今回は睡眠時に使用する目的で、シートタイプの光重合スプリントレジンを使用し、短時間に適合精度に優れたスプリントを製作するための方法を取り上げる。

『基本的なスポーツマウスガード製作法』 岐阜南支部 伊藤 章仁

近年注目されつつあるスポーツ歯学において、歯科技工士が大いに貢献出来る分野にスポーツマウスガードの製作が挙げられる。多くのスポーツ愛好家にも、スポーツマウスガードによる外傷に対しての予防効果が認知されつつある。よって、今後さらに普及することが考えられ、それに伴い歯科技工士も製作法を把握しておく必要がある。

今回は歯科技工士が知っておくべきスポーツ歯学の概論と基本的なスポーツマウスガードの製作法を述べる。

『リングライズドオクルージョンの総義歯の排列方法について』 西濃支部 久世 康正

排列方法の中で、歯槽頂間線法則、クリステンセン現象に配慮した平衡咬合 調節湾曲など、排列の中に具備する条件は誰しものが知りえる基礎知識です。それらを基に総義歯排列には必ずその考え方が自分の義歯に存在するべきであると考えます。

リングライズドオクルージョンとの排列方法を提唱しておられる、小島壽先生の排列方法の考え方を紹介して、その奥義について論じると同時に、私が今まで臨床で経験した難症例の問題点を解決してきた排列のエッセンスについても御披露したいと思います。